お問合せ窓口のご案内

本商品についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ アイワパーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/）**
  本商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ アイワお客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ポータブルCD]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：XP-ZV10
    - シリアル番号：本体のふたの裏側に記載されています。
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    - ソフトウェアのバージョン：
    - お使いのパソコン（メーカー名／型名）：
    - パソコンにインストールされているOS名：
    - メモリ容量／ハードディスクの空き容量：
    - CD-ROMドライブの型名／種類（外付けまたは内蔵）：
    - エラーメッセージ（エラーメッセージが表示された場合）：

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他
アイワに関するお問い合わせ

● http://www.jp.aiwa.com/

アイワお客様ご相談センター
● ナビダイヤル ………… 0570-00-4680
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。）
● 携帯電話・PHSでのご利用は‥0466-31-4833
（ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。）
● FAX ……………………… 0466-31-4250
受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00
*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Japan

2-148-756-**91** (1)

AIWA

ポータブル CDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　Atrac CD　Atrac3plus

XP-ZV10

©2004 Sony Corporation

⚠警告　安全のために

この製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~7ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



1. **電源を切る。**
2. **ACパワーアダプターをコンセントから抜く。**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止
接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

目次

この取扱説明書では、リモコンでの操作を主として説明しています。

この取扱説明書は、本体の操作を説明しています。
付属のソフトウェアSonicStageの操作については、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

⚠警告 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電、**または**大けが**の原因となります。

運転、歩行中の使用について



- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ないでください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお聞きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない。



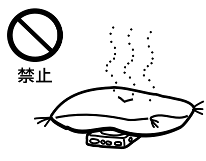
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。



感電の原因になることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。



熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。



感電の原因になります。

⚠警告　火災　感電　下記の注意を守らないと**火災・感電**、または**大けが**の原因となります。

絶対に分解しない。

分解禁止

レーザー搭載機の場合、レーザー光が目に当たると危険です。

⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない。

禁止



- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
- ヘッドホンの音量を上げすぎると音が外にもれます。まわりの人に迷惑にならないように気をつけてください。

はじめからボリュームを上げすぎない。

禁止

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプター、充電中の電池や製品に長時間触れない。

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れない。また、ホコリがつかないように、CDの出し入れ以外はふたを閉じておく。
- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。CDに傷がついたり、本機の故障の原因となります。
- 次のような場所に置かない。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。

CDの取り扱いについて

- 再生面に手を触れないように持つ。
- 紙やテープを表面に貼らない。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、炎天下で窓を閉め切った車の中に放置しない。
- 本機で使用できるのは円形ディスクのみのため、円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使うと、本機の故障の原因となります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド（Ni-Cd）
ニッケル水素（Ni-MH）
リチウムイオン（Li-ion）

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口またはアイワお客様ご相談センターに相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険　充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告　充電スタンドを付属している場合

充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠警告　乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、ACパワーアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠警告　外付け乾電池ケースを付属している場合

外付け乾電池ケースも乾電池と同様に、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。

⚠注意　乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

ATRAC CDを作って楽しもう

通常の音楽CDに加えて、付属のSonicStage（ソニックステージ）ソフトウェアを使って作成したオリジナルのCD（ATRAC CDと呼ぶ）を再生できます。SonicStageを使うと、音楽CD約30枚分*の曲を1枚のCD-RまたはCD-RWに記録できます。
ATRAC CDに入れた音楽を聞くまでの流れは以下のとおりです。

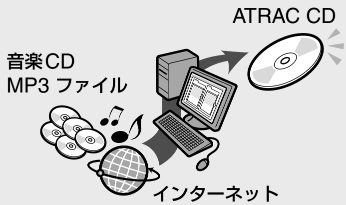
SonicStageをパソコンにインストールする

SonicStageは、音楽CDやインターネットから音楽をパソコンに取り込んで、オリジナルのCDを作るソフトウェアです。付属のCD-ROMからインストールします。



ATRAC CDを作る

パソコンに取り込んだ音楽から好きな曲を選び、SonicStageを使って、CD-R/CD-RWディスクに書き込みます。



ポータブルCDプレーヤー（本機）で聞く

たくさんの曲が入ったオリジナルのCDを、手軽に持ち歩いて楽しめます。



SonicStageのインストール方法やATRAC CDの作りかたは、付属の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

* 700MB（メガバイト）のCD-R/CD-RWディスクに、1枚あたり約60分の音楽CDをATRAC3plus、48 kbpsで記録したときの換算です。

本機で再生できるディスクは？

音楽CD：

CD-DAフォーマット

CD-DAは、Compact（コンパクト） Disc（ディスク） Digital（デジタル） Audio（オーディオ）の略で、一般音楽CDの規格です。

ATRAC CD：

SonicStageを使ってATRAC3plus（アトラックスリープラス）* フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク

ATRAC3plusは、Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding3plus（コーディングスリープラス）の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。ATRAC3plusは音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64 kbpsのとき）に圧縮することができます。

対応しているビットレートとサンプリング周波数は以下のとおりです。

	ビットレート	サンプリング周波数
ATRAC3	66/105/132 kbps	44.1 kHz
ATRAC3plus	48/64/256 kbps	44.1 kHz

MP3 CD：

SonicStage以外のソフトウェアを使ってMP3フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク

対応しているビットレートとサンプリング周波数は以下のとおりです。

可変ビットレート（VBR）にも対応しています。

	ビットレート	サンプリング周波数
MPEG-1 Layer3	32 - 320 kbps	32/44.1/48 kHz
MPEG-2 Layer3	8 - 160 kbps	16/22.05/23 kHz
MPEG-2.5 Layer3	8 - 160 kbps	8/11.025/12 kHz

対応しているID3タグのバージョンは、1.0/1.1/2.2/2.3/2.4です。ID3タグは曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するフォーマットです。

CD-Extra、Mix Mode CD:

CD-DAフォーマットとCD-ROMフォーマットの共存しているディスク

再生できないときは、OPTIONメニューの中の「CD-EXTRA」（☞29ページ）の設定を変更してください。再生できる場合があります。

SonicStageを使って作成したATRAC CDに、さらにSonicStage以外のソフトウェアを使ってMP3の音声データを混在させた場合でも再生できます。

SonicStageでは、音声データの種類が混在したディスクを作ることはできません。

* ATRAC3plusはソニー株式会社の商標です。

** ISO 9660 Level 1/2形式とJoliet拡張形式でフォーマット済みのディスク。

次のページにつづく ⟶

著作権保護技術付音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

音楽CDとATRAC CD/MP3 CDのファイル構造の違いについて

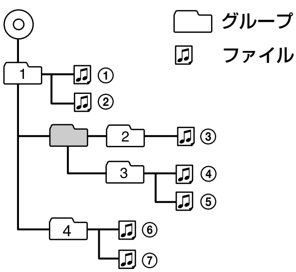
ATRAC CDとMP3 CDは、「グループ」と「ファイル」から成り立ちます。
「ファイル」は音楽CDの「曲」に相当し、「グループ」はファイルを束ねたもので音楽CDの「アルバム」に相当します。
本機では、MP3 CDのフォルダも「グループ」と認識し、同じ操作で使用できます。

使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：256
- 最大ファイル数：999

ATRAC CDやMP3 CDの再生について

ATRAC CDでは、SonicStageで選んだ曲順に再生されます。
MP3 CDでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。再生するMP3ファイルの順番を記載した「プレイリスト」も再生できます。下記MP3 CDの例では、①から⑦の順にファイルが再生されます。



（使用できる最大ディレクトリ階層：8階層）

ご注意

- ATRAC3plusとMP3ファイルが混在したディスクでは、ATRAC3plusファイルを優先して再生します。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- ATRAC3plus/MP3の記録されているディスクには、それ以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。

ATRAC CDについて

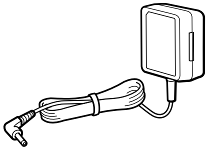
- ATRAC3plusファイルを書き込んだディスクは、パソコンのドライブでは再生できません。

MP3 CDについて

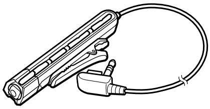
- MP3ファイルには、「mp3」の拡張子を付けてください。ただし、MP3以外のファイルに「mp3」の拡張子を付けると、そのファイルは正しく認識されません。
- MP3ファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、書き込みソフトで「追記禁止」の設定をしてください。
- 未使用のCD-R/CD-RWディスクに最大容量まで1回で記録する場合は、書き込みソフトで「Disc at Once（ディスクアット ワンス）」の設定をしてください。

付属品を確かめる

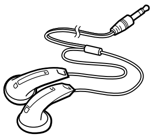
- ACパワーアダプター



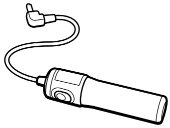
- リモコン（本機専用）



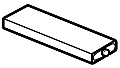
- ヘッドホン



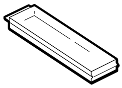
- 外付け乾電池ケース



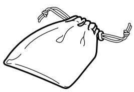
- 充電式電池（充電池）



- バッテリーキャリングケース

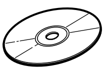


- キャリングポーチ



- CD-ROM（SonicStage）

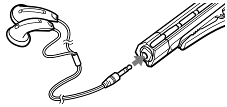
CDプレーヤー（本機を含む）で再生しないでください。



- 取扱説明書（本書）
- ソフトウェアインストール・操作ガイド
- 保証書
- アイワご相談窓口のご案内

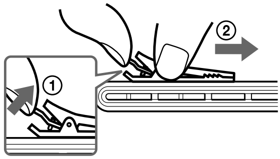
ヘッドホンをリモコンにつなぐには

ヘッドホンのプラグをリモコンにしっかり差し込んでください。

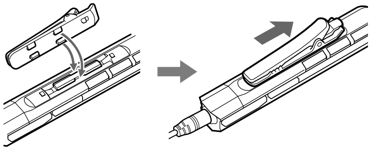


リモコンクリップの使いかた

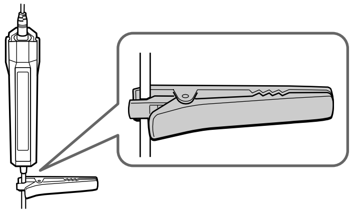
1 リモコンの裏面のクリップをはずす。



2 左右反対に取り付け直す。



リモコンのコードに通すときは



本機を海外へお持ちになるときは

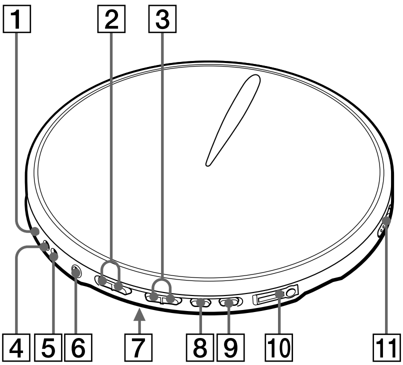
付属のACパワーアダプターは、AC100V～240V、50/60Hzの範囲で使用できます。使用する地域の電圧や電源コンセント形状などは旅行代理店などで確かめてください。

使用する地域の電源コンセント形状が付属のACパワーアダプターのプラグ形状と異なる場合は、ACプラグ変換アダプターを別途お買い求めください。

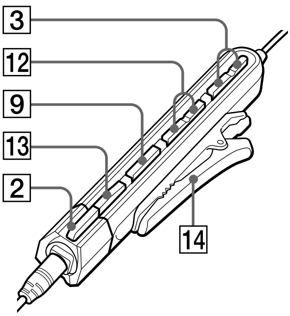
準備

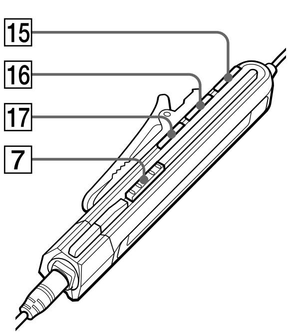
各部の名前

本体



リモコン





1 OPR（Operation）ランプ（☞14、15、17、18、20ページ）

2 本体：
VOL（Volume）＋*/－ボタン（☞18ページ）
リモコン：
VOL（Volume）＋/－つまみ（☞18、25ページ）

3 ⏮/⏭ボタン（☞19、23、25、27ページ）

4 EXT BATTジャック（☞16ページ）

5 DC IN 3 Vジャック（☞14、17ページ）

6 LINE OUT（OPTICAL）ジャック（☞30ページ）

7 HOLDスイッチ（本体は裏面）（☞20ページ）

8 ■（停止）/CHG（Charge）ボタン（☞14、19ページ）

9 本体：
▶II（再生/一時停止）*ボタン（☞18、19ページ）
リモコン：
▶II（再生/一時停止）*/ENTER（決定）ボタン（☞18、19、23～25、27ページ）

10 🎧（ヘッドホン）ジャック（☞18ページ）

11 OPENつまみ（☞14、18ページ）

12 🗀（グループ）－/＋ボタン（☞19、24ページ）

13 ■（停止）ボタン（☞19、24-26、28ページ）

14 クリップ（☞11ページ）

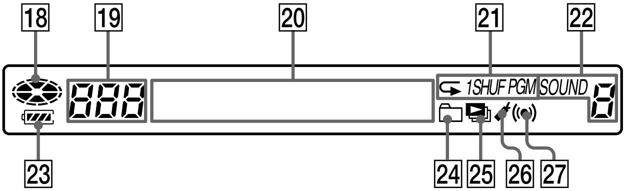
15 P MODE/↻（リピート）ボタン（☞21、24ページ）

16 DISPLAYボタン（☞20、27ページ）

17 SOUNDボタン（☞25ページ）

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印として使ってください。

リモコン表示窓



18 ディスク表示（☞18ページ）

19 曲番表示/オートランキング再生表示（☞20、21ページ）

20 文字情報表示部（☞20、21ページ）

21 再生モード表示（☞22、24ページ）

22 サウンド表示（☞25ページ）

23 電池残量表示（☞14、16ページ）

24 グループ表示（☞22、23ページ）

25 プレイリスト表示（☞22、23ページ）

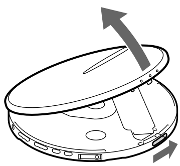
26 ブックマーク表示（☞22、23ページ）

27 タイマー表示（☞28ページ）

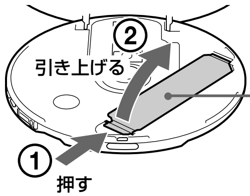
電池を充電する（充電式電池）

初めて使うときや電池が消耗したときは、充電式電池（充電池）を充電してください。充電池は消耗しきってから（表示窓に「Lo Batt」が出る）充電すると、長持ちします。

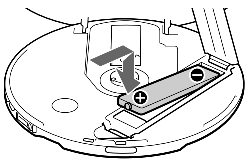
1 OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。



2 電池ぶたを開ける。



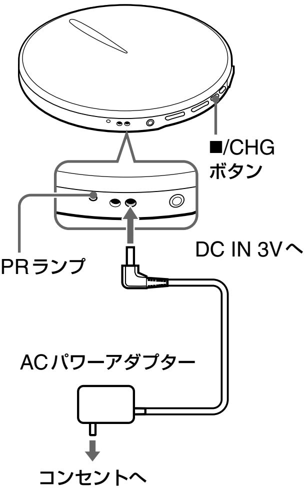
3 充電池NH-14WM（付属）を電池入れの⊕の表示に合わせて入れ、電池ぶたと本体のふたを「カチッ」と音がするまで閉める。



⊖側を先に入れる。

4 ACパワーアダプターをつなぎ、■/CHGボタンを押す。

本体のOPRランプが点灯し、リモコン表示窓に「Charging」が点滅し、▭（電池残量）が流れるように点灯して、充電が始まります。



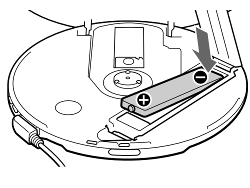
OPRランプと「Charging」が消えたら、充電終了です。

ご注意

- 充電池NH-14WM（付属）以外は充電しないでください。
- 充電中は本体や充電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 長期間使用しないときは、本体から充電池を取り出してください。

充電池を取り出すときは

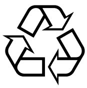
充電池の⊖側を押す。



充電池の持続時間と電池交換のめやすについて

初めて充電するときや長期間使用しなかったときは、充電しても持続時間が通常より短いことがあります。
その場合は、OPRランプが消えるまで充電後、充電池が消耗しきる（表示窓に「Lo Batt」が出る）まで使い、これを何度か繰り返すと通常の状態に戻ります。
常温で使える時間の半分位で電池がなくなるときは、新しい充電池と交換してください。

充電池の廃棄について



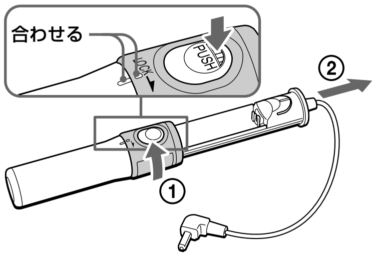
Ni-MH

ニッケル水素電池はリサイクルできます。
不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
充電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。
URL：http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

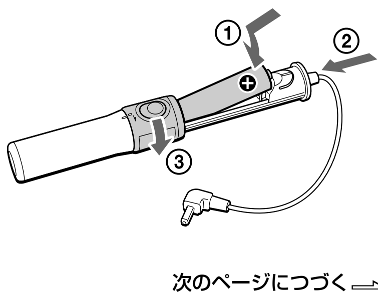
乾電池で使うときは

本体内の充電池と一緒に、外付け乾電池ケースを取り付けて乾電池も使うと、より長い時間再生できます。
ACパワーアダプターをはずしてから、外付け乾電池ケースをつなぎます。
本体内の充電池と外付け乾電池ケース内の乾電池は同時に消耗します。
充電池と乾電池を合わせて使う場合は、充電池は充電し、乾電池は新しい電池をお使いください。

1 **下の絵のようにPUSH（プッシュ）ボタンの下の線をあわせてから、PUSH（プッシュ）ボタンを押して乾電池入れを引き出す。**

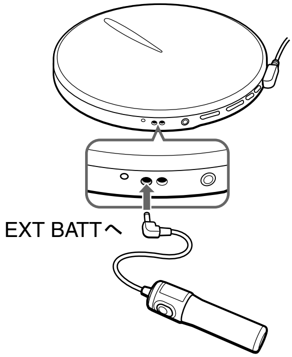


2 **単3形（LR6）アルカリ乾電池1本を乾電池入れの⊕の表示に合わせて入れる。乾電池入れを押し込んで、LOCK（ロック）を矢印方向へ回す。**



次のページにつづく

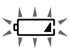
3 外付け乾電池ケースを本体につなぐ。



電池残量を確認する

表示窓に以下のように表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、残量が減っています。



 →「Lo Batt」*

*「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、充電池は充電し、乾電池は交換してください。

ご注意

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、残量表示は増減します。

電池の使用可能時間[1)]

NH-14WM 1本使用時（約5時間充電[2)]）

	E•A•S•S GP EASS GP 1	E•A•S•S GP EASS GP 2
音楽CD	約18時間	約17時間
ATRAC CD[3)]	約40時間	約40時間
MP3 CD[4)]	約22時間	約22時間

外付け乾電池ケース（アルカリ乾電池1本[5)]）使用時

	E•A•S•S GP EASS GP 1	E•A•S•S GP EASS GP 2
音楽CD	約30時間	約27時間
ATRAC CD[3)]	約60時間	約60時間
MP3 CD[4)]	約33時間	約33時間

NH-14WM 1本＋外付け乾電池ケース（アルカリ乾電池1本[5)]）使用時

	E•A•S•S GP EASS GP 1	E•A•S•S GP EASS GP 2
音楽CD	約48時間	約44時間
ATRAC CD[3)]	約100時間	約100時間
MP3 CD[4)]	約55時間	約55時間

1）電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。
「POWERSAVE」を「2」に設定し（☞28ページ）、本体を水平に置いて振動のない状態で再生した場合の目安です。再生時間は使用状況によって変わります。

2）充電時間は充電池の使用状態により異なります。

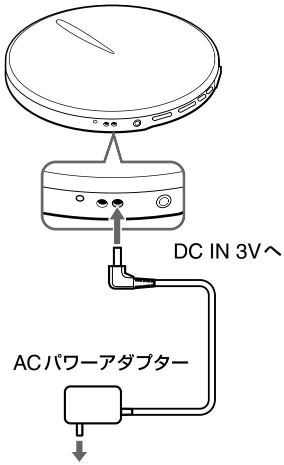
3）48 kbpsで記録されたCDの場合。

4）128 kbpsで記録されたCDの場合。

5）日本製ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）で測定。

ACパワーアダプターで使うときは

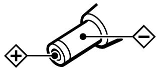
電池を使わずに、ACパワーアダプターをつないで使えます。



1 ACパワーアダプターを本体のDC IN 3Vジャックにつなぐ。

ACパワーアダプターについてのご注意

- 本機を長期間使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。
- 付属のACパワーアダプターを使ってください。他のACパワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。

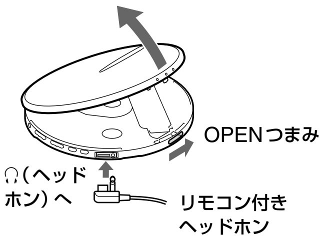


- ACパワーアダプターは手が容易に届く電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はコンセントから速やかに抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込みキャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使わないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

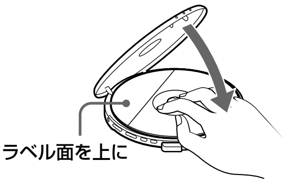
再生する

1 **OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。**

あらかじめリモコン付きヘッドホンを本体につないでおきます。



2 **CDを入れ、ふたを閉める。**

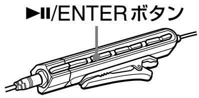


OPRランプが赤、緑、オレンジに繰り返し点灯します。

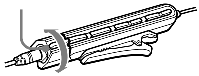
3 **リモコンの►II/ENTERボタンを押す。**

表示窓の (ディスク) が動画に変わり、再生が始まります。

OPRランプは再生する曲のフォーマット (☞9ページ) によって色が変わります。音楽CDは赤、ATRAC3plusは緑、MP3はオレンジに点灯します。



4 **リモコンのVOL＋/－つまみを回して音量を調節する。**



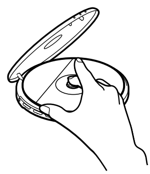
本体で操作するときは

CDを入れ、►IIボタンを押し、VOL＋/－ボタンを押して音量を調整する。



CDを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端の方からつまみあげる。



再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出し/サーチ）

こんなときは		リモコン操作。（　）内は本体操作。
再生	1曲目から再生する	停止中に、再生が始まるまで►II/ENTERボタンを押したままにする。 （停止中に、再生が始まるまで►IIボタンを押したままにする。）
停止	一時停止する/一時停止を解除する	►II/ENTERボタンを押す。 （►IIボタンを押す。）
	再生を止める	■ボタンを押す。 （■/CHGボタンを押す。）
頭出し/サーチ	今聞いている曲を頭出しする 1)	I◄◄ボタンを1度押す。
	前の曲、さらに前の曲を頭出しする 1)	I◄◄ボタンを繰り返し押す。
	次の曲を頭出しする 1)	►►Iボタンを1度押す。
	さらに先の曲を頭出しする 1)	►►Iボタンを繰り返し押す。
	早戻しする 1) 3)	I◄◄ボタンを押したままにする。
	早送りする 1) 3)	►►Iボタンを押したままにする。
	グループを送る 2)	🗀+ボタンを繰り返し押す。
	グループを戻す 2)	🗀−ボタンを繰り返し押す。

1）再生中または一時停止中のみ操作できます。

2）音楽CD以外のCDを再生中のみ操作できます。

3）パケットライトされたMP3再生では操作できません。

次のページにつづく

誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。本体のHOLD機能が働いているときは、操作してもOPRランプが点滅して、操作が無効になります。

1 リモコンまたは本体裏面のHOLDスイッチを矢印の方向にスライドする。

リモコンと本体別々に、誤操作防止状態（HOLD）にできます。例えば、本体をHOLDにしても、リモコンをHOLDにしなければ、リモコンで操作できます。

HOLDを解除するには

リモコンまたは本体のHOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドする。

ご注意

HOLDが働いていても、リモコンの表示窓に「HOLD」とは表示されません。

表示窓で情報を見る

リモコンの表示窓で、CDの詳しい情報を確認できます。
ID3タグ入りのMP3 CDでは、ID3タグの情報が表示されます（ID3タグ情報がないときは、ファイル名またはグループ名）
（☞9ページ）。

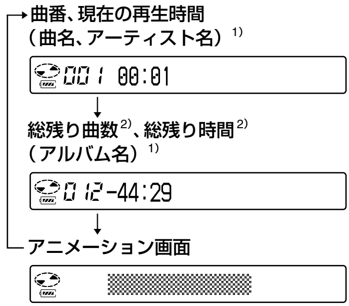
ご注意

- 付属のリモコンで表示できる文字は、半角英数字のみです。
- ファイルを再生する前に、本機はCDに記録されているファイルとグループまたはフォルダの全情報を読み込み、「Reading（リーディング）」と表示されます。CDの内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- グループに属さないファイルはグループ名が「MP3 ROOT（ルート）」と表示されます。

リモコン表示窓で確認するときは

リモコンのDISPLAYボタンを繰り返し押す。

音楽CDの場合



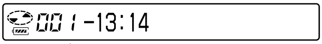
ATRAC CD/MP3 CDの場合

→ファイル番号、ファイル名、
アーティスト名、現在の再生時間



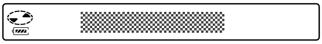
↓

ファイル番号、アルバム名/
CODEC(コーデック)情報[3]、ファイルの残り時間



↓

アニメーション画面



1) CD-TEXTなど文字情報が入っている場合、表示されます。
2) 通常再生のときのみ表示されます。
3) ビットレート、サンプリング周波数。VBR(可変ビットレート)で作成されたMP3ファイルを再生しているときは、ビットレート部分に「VBR」と表示されます。曲の途中から表示される場合もあります。

再生方法(PLAY MODE)を変える

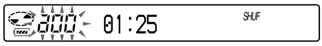
好きな曲だけを聞いたり、順番を並べかえて聞くことができます。

再生方法(PLAY MODE)について詳しくは、☞22ページをご覧ください。

また、選んだ再生方法を繰り返して聞くこともできます(リピート再生、☞24ページ)。

1 再生中に、リモコンのP MODE/↻ボタンを繰り返し押して再生方法を選ぶ。

選んだ再生方法が表示窓に点灯または点滅します。点滅している場合は、►II/ENTERボタンを押します。



通常再生に戻るには

リモコンのP MODE/↻ボタンを再生方法の表示が消えるまで繰り返し押す。

次のページにつづく ⟶

再生

再生方法（PLAY MODE）一覧

リモコンの表示	説明
表示なし （通常再生）	CDに録音されている全曲を、曲番順に1回再生します。 ATRAC CD/MP3 CDの場合は、OPTIONメニューのPLAYORDERの設定によって、再生順が異なります。
（グループ再生）	選んだグループに含まれる全曲または全グループを再生します（ATRAC CD/MP3 CDのみ）（☞23ページ）。
1 （1曲再生）	現在再生中の曲だけを1回再生します。
SHUF （シャッフル再生）	CDに録音されている全曲を、順不同に1回再生します。
SHUF （グループシャッフル再生）	選んだグループの全曲を、順不同に1回再生します（ATRAC CD/MP3 CDのみ）（☞23ページ）。
（ブックマーク再生）	聞きたい曲にブックマーク（しおり）を付けて、その曲だけを再生します。ブックマークを付けた順番には関係なく、曲番の小さいほうから再生が始まります（☞23ページ）。
（m3uプレイリスト再生）	選んだm3uプレイリスト*の曲を再生します（MP3 CDのみ）（☞23ページ）。
a00 （オートランキング再生）	再生中のCDのよく聞く曲を本機が自動的に記憶して、10位から順に1位まで再生します。
a00 SHUF （オートランクシャッフル再生）	本機が自動的に記憶したよく聞く曲最大32曲を順不同に再生します。
PGM （プログラム再生）	最大64曲まで、好きな曲順に並べ換えて再生します（☞24ページ）。
INTRO （イントロ再生）	再生中の曲に続く曲の最初の約10秒を1回再生します。 イントロ再生中にP MODE/ボタンを押すと、その曲を終わりまで再生します。ブックマークも付けることができます（☞23ページ）。

* m3uプレイリストは、再生するMP3ファイルの順番をあらかじめ記載したファイルのことです。m3uフォーマット対応のエンコードソフトウェアでCD-R/CD-RWを作成したときに使用できます。ファイル名で並べたリストの先頭の8つまで扱えます。

グループを再生する

1 「再生方法（PLAY MODE）を変える」（☞21ページ）の手順1で、「🗀」または「🗀SHUF」を選ぶ。

2 VOL＋/－つまみを回してグループを選ぶ。

MP3 CDなどで、階層を移動してグループを選ぶ場合は、⏮またはボタン⏭を押し、階層内でグループを選ぶ場合は、VOL＋/－つまみを回します。

3 ▶❚❚/ENTERボタンを2秒以上押して決定する。

選んだグループに含まれる全ての曲の再生が始まります。

ご注意

グループの中に曲が入っていない場合、「Invalid」と表示されます。

聞きたい曲だけ再生する（ブックマーク再生）

1 ブックマーク（しおり）を付けたい曲の再生中に、✐（ブックマーク）がゆっくり点滅するまでリモコンの▶❚❚/ENTERボタンを押したままにする。

2 複数の曲にブックマークを付けたいときは、手順1を繰り返す。

音楽CDは10枚まで（1枚につき最大99曲）、ATRAC CDとMP3 CDは5枚まで（1枚につき最大999曲）ブックマークを付けられます。

3 「再生方法（PLAY MODE）を変える」の手順1（☞21ページ）で✐（ブックマーク）を選ぶ。

4 ▶❚❚/ENTERボタンを押して決定する。

ブックマークを消すには

ブックマークを付けた曲の再生中に、✐が消えるまで、リモコンの▶❚❚/ENTERボタンを押したままにする。

ご注意

- 11枚以上（ATRAC CD/MP3 CDの場合、6枚以上）のCDにブックマークを付けようとすると、すでにブックマークが付いているCDのうちで、最初に再生したCDのブックマークから消えていきます。
- 電源をすべて外したときと、「Lo Batt」が表示される充電池を充電しないまま使ったときは、登録されていたすべてのブックマークが消えます。

選んだプレイリストの曲を再生する（m3uプレイリスト再生）

1 「再生方法（PLAY MODE）を変える」の手順1（☞21ページ）で🗐（プレイリスト）を選ぶ。

2 リモコンの⏮または⏭ボタンを押してリストを選ぶ。

3 ▶❚❚/ENTERボタンを押して決定する。

次のページにつづく

好きな曲順で再生する（プログラム再生）

1 **停止中に、リモコンのP MODE/↻ボタンを繰り返し押して「PGM」を選ぶ。**



2 **VOL＋/－つまみを回して曲を選び、再生順の表示が変わるまで▶II/ENTERボタンを押したままにして決定する。**

ATRAC CD/MP3 CDでは、🗀＋または🗀－ボタンを押して、別のグループの曲を選べます。

3 **手順2を繰り返して好きな順に曲を選ぶ。**

64曲まで設定できます。64曲を選ぶと、最初に選んだ曲番（音楽CD）またはファイル名（ATRAC CD/MP3 CD）が表示されます。65曲以上選ぶと、最初に選んだ曲から順に消えていきます。

4 **▶II/ENTERボタンを押す。**

選んだ順に再生が始まります。

選んだ曲順を確認するには

1 停止中に、リモコンのP MODE/↻ボタンを「PGM」が点滅するまで繰り返し押す。「PGM」が点滅したら、▶II/ENTERボタンを表示が変わるまで押したままにする。

2 ▶II/ENTERボタンを表示が変わるまで押す。
押すたびに、再生順に曲が表示されます。

操作を途中でやめるには

リモコンの■ボタンを押す。

繰り返し聞く（リピート再生）

1 **繰り返したい再生方法（☞21、22ページ）を選ぶ。**

2 **リモコンのP MODE/↻ボタンを↻（リピート）が点灯するまで押したままにする。**

選んだ再生方法が繰り返されます。

通常の再生に戻すには

リモコンのP MODE/↻ボタンを↻が消えるまで押す。

音質を変える

設定項目と内容について詳しくは、☞26ページをご覧ください。

好みの音質を選ぶ

「EQUALIZER（音質設定）」、「CLEARBASS（低音強調設定）」の2つの設定が可能です。両方設定すると、より重低音が楽しめます。

1 **リモコンのSOUNDボタンを繰り返し押して、「EQUALIZER」または「CLEARBASS」を表示させる。**

2 **▶II/ENTERボタンを押して決定する。**

3 **I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、好みの音質を選ぶ。**

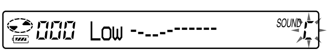
4 **▶II/ENTERボタンを押して決定する。**

好みの音質に細かく設定する（CUSTOM）

表示窓で波の高さと位置を見ながら、音域ごとにさらに細かく音質を設定できます。

1 **「EQUALIZER」が表示されるまでリモコンのSOUNDボタンを繰り返し押し、▶II/ENTERボタンを押す。**

2 **「CUSTOM」が表示されるまで I◀◀ または ▶▶I ボタンを繰り返し押し、▶II/ENTERボタンを押す。**

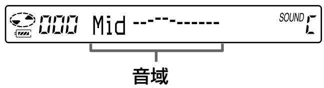


3 **調整したい音域が表示されるまで I◀◀ または ▶▶I ボタンを押し、繰り返す。**

初めに「Low（ロー）」が表示されます。
3つの音域（低音域の「Low」、中音域の「Mid（ミディアム）」、高音域の「Hi（ハイ）」）があります。

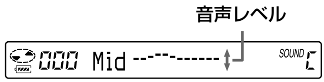
4 **I◀◀ または ▶▶I ボタンを繰り返し押して音域を選ぶ。**

各音域にはさらに3段階あります。



5 **VOL＋/－つまみを繰り返し回して音声レベルを選ぶ。**

7段階で調節できます。



6 **手順3～5を繰り返して「Mid」および「Hi」の設定を行う。**

7 **▶II/ENTERボタンを押す。**

途中で設定をやめるには

リモコンの■ボタンを2秒以上押したままにする。

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「CUSTOM」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

次のページにつづく ⟶

音質設定項目一覧

1つ前の状態に戻るにはリモコンの■ボタンを押します。設定を途中でやめるにはリモコンの■ボタンを2秒以上押したままにします。

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
EQUALIZER （音質設定）	● OFF	通常の音質。
	SOFT	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質。
	ACTIVE	低域と高域を強調したメリハリのある音質。
	HEAVY	低域と高域をさらに強調した迫力のある音質。
	CUSTOM	自分で設定した音質（設定方法は☞25ページ）。
CLEARBASS （低音強調設定）	● OFF	通常の音質。
	BASS 1	低域を強調した音質。
	BASS 2	BASS 1より低域を強調した音質。
	BASS 3	BASS 2より低域を強調した音質。

ご注意

「CLEARBASS」を設定した後に「EQUALIZER」設定を変更すると、「EQUALZER」設定が優先されます。「EQUALIZER」と「CLEARBASS」の両方を設定する場合は、「EQUALIZER」設定を先に行ってください。

設定を変える

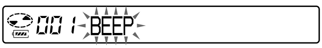
設定項目と内容について詳しくは、「各種設定項目一覧」（☞28ページ）をご覧ください。

いろいろな機能の設定をする

メニューを表示する言語や再生順などの設定を変えることができます。

1 **表示が変わるまでリモコンのDISPLAYボタンを押したままにする。**

2 **⏮ または ⏭ ボタンを押して設定したい項目を選び、⏯/ENTERボタンを押して決定する。**



3 **⏮ または ⏭ ボタンを押して設定内容を選び、⏯/ENTERボタンを押して決定する。**

「LANGUAGE」または「PLAYORDER」を設定する場合は、手順**3**を繰り返します。

次のページにつづく ⟶

各種設定項目一覧

1つ前の状態に戻るにはリモコンの■ボタンを押します。設定を途中でやめるにはリモコンの■ボタンを2秒以上押したままにします。

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
LANGUAGE	MENU	● ENGLISH	メニューや警告表示の言語を選べます。
		FRENCH	
		GERMAN	
		ITALIAN	
		PORTUGUESE	
		SPANISH	
	TEXT[1]	● AUTO（自動設定）	CD-TEXT、ID3タグ、ファイル/グループ名の言語を選べます。
		ENGLISH	
		FRENCH	
		GERMAN	
		ITALIAN	
		PORTUGUESE	
		SPANISH	
EASS GP[2]（音飛び防止）	● EASS GP 1	音飛びを抑えながら、CD本来の高音質で再生します。	
	EASS GP 2	さらに音飛びに強くなります。	
AVLS[3]（快適音量）	● OFF	音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。	
	ON	音もれや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がりません。	
TIMER（タイマー設定）	● OFF	タイマーは働きません。	
	ON	1 ～ 99 min	リモコンの表示窓に((•))が点灯します。再生中に再度表示させれば、停止までの時間を確認できます。 リモコンのVOL＋/－つまみを回すたびに5分ごと、回しつづけると1分ごとに時間を設定できます。 お買い上げ時の設定は「10min」です。
BEEP（操作確認音）	● ON	操作時の確認音（ピッなど）が鳴ります。	
	OFF	確認音は鳴りません。	
SEAMLESS[1) 4)]（無曲間再生）	● OFF	曲間をそのまま再生します。	
	ON	曲間を空けずに、つながっているように再生します。	
POWERSAVE[1]（パワーセーブ）（リモコン表示窓の照明/本体OPRランプの点灯設定）	● OFF	リモコンは操作直後、約10秒間点灯し、その後消えます。本体のOPRランプは点灯したままです。	
	1	操作をしても、リモコン、本体ともに点灯しません。	
	2	操作をしても、リモコン、本体ともに点灯しません。さらに、「EQUALIZER」と「CLEARBASS」設定は無効になります。	

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
PLAYORDER[1) 5)] （再生順設定）	TRACK	● NORMAL	書き込み順に再生します。
		ID3tagTNO	ID3タグの番号順に再生します。
		FILE NAME	ファイル名順に再生します。
	GROUP	● OFF	書き込み順に再生します。
		ON	グループ名順に再生します。
CD-EXTRA[1) 6)]	● OFF	通常使用時の設定です。	
	ON	CD-EXTRAが正しく再生できない場合、再生できることがあります。	

1）停止中のみ設定できます。

2）E•A•S•SはElectronic Anti-Shock System（エレクトロニック アンティショック システム）の略です。停止中にのみ設定できます。

3）Automatic Volume Limiter System（オートマチック ボリューム リミッター システム）の略です。

4）ATRAC CDのみ設定できます。

5）ATRAC CD/MP3 CDのみ設定できます。

6）音楽CDとCD-Extraのみ設定できます。

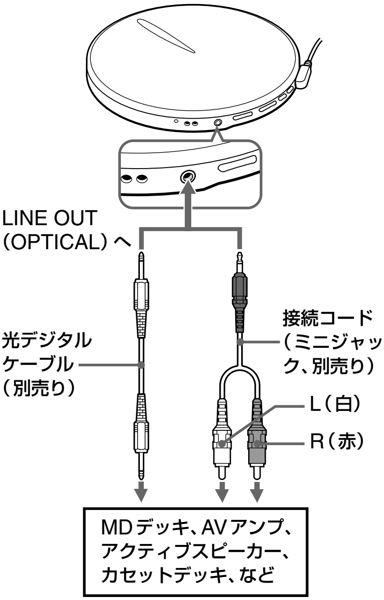
ご注意

- 「EASS GP」を「EASS GP 2」に設定していても、次のような場合、音が飛ぶことがあります。
  - 強い衝撃が連続的に与えられたとき
  - 傷や汚れのあるCDのとき
  - CD-R/CD-RW：品質や、記録に使用したレコーダーの状態に問題があるとき
- 「SEAMLESS（シームレス）」を「ON」に設定していても、ソースの録音状態によっては曲がつながらないときがあります。

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続してCDを聞いたり、本機で再生した曲をMDやテープに録音できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続してください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。



ご注意

- CDを聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。
- 録音するときは、ACパワーアダプターを使ってください。充電池や乾電池では、録音途中で電池が消耗しきってしまうことがあります。
- 本機のデジタル出力はSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に基づいて、デジタルーデジタルのコピーを1世代のみに制限しています。
- ATRAC CD/MP3 CDは光デジタル出力されません。作成したATRAC CD/MP3 CDを他のステレオ機器で録音または再生する場合は、アナログ接続コードをお使いください。
- 光デジタルケーブルの場合、ミニディスクやDATなどへの録音は、本機を一時停止してから行ってください。
- CD本来の高音質で録音したいときには、「各種設定」メニューで「EASS GP」を「EASS GP 1」にしてください。
- 他の機器に接続したときは、EQUALIZERとCLEARBASS機能は働きません。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、もう1度以下の流れにしたがって、問題をチェックしてください。

1　「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

2　「アイワパーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページ http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/で調べる。

3　手順**1**、**2**を確認しても問題が解決しないときは、アイワお客様ご相談センター（☞裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因 / 処置
充電できない。	➔ 充電池が入っていない。充電池を入れる（☞14ページ）。 ➔ リモコンの■ボタンを押した。停止状態で本体の■/CHGボタンを押す。

音声

症状	原因 / 処置
リモコンのVOL＋/－つまみを＋側に回し続けても（本体では、VOL＋ボタンを押し続けても）音量が小さすぎる。	➔「AVLS」が「ON」になっている。「OFF」にする（☞28ページ）。 ➔ LINE OUT（OPTICAL）ジャックにヘッドホンをつないでいる。☊（ヘッドホン）ジャックにつなぐ。
音が出ない。雑音が聞こえる。	➔ ヘッドホンのプラグをしっかり差し込む。 ➔ ヘッドホンのプラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布で拭く。
音量を調節できない。	➔ LINE OUT（OPTICAL）ジャックにヘッドホンをつないでいる。☊（ヘッドホン）ジャックにつなぐ。
CDのすれる音がする。	➔ 電池ぶたをしっかり閉める（☞14ページ）。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音が聞こえる。	➔ 接続した機器側で音量を調節する（☞30ページ）。

次のページにつづく ⇀

その他

操作/再生

症状	原因 / 処置
再生時間が短い。再生できない。	→ マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。 → 新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する（☞15ページ）。 → 充電池のときは、何回か充電と放電（本体に入れて再生）を繰り返す（☞15ページ）。
曲が再生されない。	→ 本機で再生可能なフォーマット以外のファイルを再生しようとした（☞9ページ）。 → OPTIONメニューの中の「CD-EXTRA」の設定を変更する。再生できる場合があります（☞29ページ）。
「Lo Batt」が表示され、再生が始まらない。	→ 充電池が消耗している。充電する（☞14ページ）。 → 乾電池が消耗している。新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する（☞15ページ）。
「Hi DC In」が表示される。	→ 定格を超えたACパワーアダプターを使用している。ACパワーアダプターは付属のものを使う。
再生が始まらない。または、CDを入れても「No Disc」が表示される。	→ CDが汚れているときは、CDをクリーニングする。CDに大きな傷があるときは、CDを交換する。 → CDのラベル面を上にして入れる（☞18ページ）。 → 結露している。CDを取り出して、そのまま数時間置く。 → 電池ぶたをしっかり閉める（☞14ページ）。 → 充電池または乾電池を正しく入れる（☞14、15ページ）。 → ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む（☞17ページ）。 → ACパワーアダプターを接続して1秒以上たってから、リモコンの▶II/ENTERボタンを押す。（本体では、▶IIボタンを押す。） → CD-R/CD-RWに何も記録されていない。 → CD-R/CD-RWは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合がある。
ボタンを押すと本体のOPRランプが点滅し、再生が始まらない。	→ HOLD（誤操作防止状態）になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLDを解除する（☞20ページ）。
止めたところから再生が始まる（リジューム機能）。	→ リジューム機能が働いている。1曲目から再生を始めるには、停止中にリモコンの▶II/ENTERボタンを再生が始まるまで押したままにする（本体では、▶IIボタンを押したままにする）（☞19ページ）。または本体のふたを開ける。あるいはすべての電源をはずして、接続し直す。
ATRAC CDまたはMP3 CDの再生中に、CDが回転しないが再生は正常に聞こえる。	→ 本機はATRAC CDとMP3 CDの再生中は電力消費を減らすためにCDの回転を止めるように設計されているため、故障ではありません。

症状	原因 / 処置
リモコンの▶❚❚/ENTERボタンを押した後（本体では、▶❚❚ボタンを押した後）や本体のふたを閉めたときに、「No File」が表示される。	➔ CD-R/CD-RWにATRAC3plus/MP3ファイルが含まれていない。 ➔ CD-R/CD-RWに何も記録されていない。 ➔ CDが汚れている。
液晶表示が見えにくい。表示の変わりかたがゆっくりになる。	➔ 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）で使用している。常温になれば、元に戻る。
リモコンの「」が速く点滅して、曲の頭出しやサーチができない。	➔ ブックマーク再生準備モードに入っている。PLAY MODE設定を通常再生（表示なし）にする（☞22ページ）。
ブックマーク再生を選んでいないのに（ブックマーク）が点滅する。	➔ ブックマーク再生以外の再生方法を選んだ場合は（ブックマーク）が点滅します。
突然、再生が止まった。	➔ タイマーが設定されている。「TIMER」を「OFF」にする（☞28ページ）。 ➔ 充電池または乾電池が消耗した。充電池は充電し（☞14ページ）、乾電池は新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する（☞15ページ）。
「EQUALIZER」と「CLEARBASS」の設定ができない。	➔ POWERSAVEが「2」になっている。「OFF」または「1」にする。
光デジタルケーブルを接続しても録音または再生できない。	➔ ATRAC CD/MP3 CDを録音または再生しようとしている。アナログ接続コードを使用する（☞30ページ）。
操作ができなくなり、リモコンに8桁の英字または数字が表示される。	➔ ディスクによって起きる場合があります。電池とACパワーアダプターをはずし、再度装着してから操作してください。再び、8桁の英字または数字が表示される場合は、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

その他

症状	原因 / 処置
光デジタルケーブルを接続して録音中に、曲番が正しく付かない。	➔ ミニディスクレコーダー、DATレコーダーなどで、もう1度、曲番を付け直す。 ➔ 録音機器の取扱説明書を見る。本体で音量を調節する。
本体のふたを閉めるとディスクが回転する。	➔ ディスクの情報を読んでいるためで、故障ではありません。
リモコンで正常な操作ができない。	➔ 本体の操作ボタンが誤って押されたままになっている。 ➔ リモコンがしっかり接続されていない。

お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

主な仕様

型式
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

復号化（D/A）
1 bitクォーツ時間軸制御

周波数特性 *
20 Hz ～ 20 000 Hz $^{+1}_{-2}$ dB（LINE OUT）

出力端子（電源電圧3 V時）
- ライン出力（ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　0.7 Vrms（47 kΩ）
  推奨負荷インピーダンス　10 kΩ以上
- ヘッドホン出力（ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　5 mW＋5 mW
  （JEITA/16 Ω）
  推奨負荷インピーダンス　16 Ω
- 光デジタル出力（光ミニジャック）1個
  最大出力レベル　－21 ～－15 dBm
  発光波長　630 ～ 690 nm

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

電源
- 充電式ニッケル水素電池NH-14WM
  1本（付属）: DC 1.2 V × 1
- 単3形（LR6）アルカリ乾電池1本（別売り）:
  DC 1.5 V × 1
- 外部電源ジャック : 定格DC 3 V
  ACパワーアダプター（付属）を接続してAC 100 V ～ 240 V電源から使用可能

動作温度
5℃～ 35℃

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
約135 × 14.5 × 135 mm
突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約135.5 × 16.6 × 136 mm

質量
本体：約170 g
　　　約195 g（充電式電池を含む）（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

アクティブスピーカー	SC-DP300
ヘッドホン	HP-SE11 HP-SN51 HP-SC21
接続コード	RK-G129 RK-G136

CEマークは、それが法的に強制されている国－主としてEEA（欧州経済地域）に加盟している国－でのみ有効です。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

五十音順

アルファベット順

表示・記号